

2025 年度入学式 新入生誓いの言葉

春の暖かい日差しがきらめき、生命が活気付くこの季節、私たちは新たな希望に胸を膨らませ、ここ日本福祉大学に入学しました。本日はこのような素晴らしい入学式を開催頂き、誠にありがとうございます。私は高校 3 年間、吹奏楽部に所属していました。部員は約 200 名で、性格も価値観も異なる仲間達とともに、一つの音楽を創り上げる経験をしてきました。最初は意見が合わず、思い通りにいかないこともありましたが、話し合いを重ねることでお互いを理解し、一つの音楽を創り上げることができました。この経験を通して、異なる考えを持つ人々と協力しながら何かを創り上げることの大切さを学びました。

この学びは、これから私の学ぶ建築学の道にも通じるものだと感じています。建築とは単に建物をつくるだけでなく、そこに暮らす人々や社会全体の未来を形にする仕事です。そして私たちは、この日本福祉大学で新たに開設された工学部の一期生として、その第一歩を踏み出しました。道標のない環境で学ぶことは挑戦の連続かもしれません。しかし、だからこそ私たち自身がこの学びを切り開き、後に続く人々の指針になることができると考えています。

今年開催される大阪・関西万博では、「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマが掲げられています。そこでは、人々がより幸福に生きるための新たな技術やアイデアが世界中から集められます。建築もまた、こうした未来社会の一端を担う分野です。環境に配慮した建築、誰もが安全に暮らせる住環境、災害に強いまちづくりなどこれらすべては、人々の幸福を支える大切な要素です。私はこれからの学びを通して、人と人とをつなぎ、より良い社会を築くために建築が果たせる役割を考えていきたいと思います。

吹奏楽の演奏が、異なる楽器の音色が調和することで美しいハーモニーを生み出すように、建築もまた、人々の思いや社会の多様な価値観が調和することで、より良い空間を生み出していきます。工学部一期生はじめ新入生一同、私たちはその可能性を模索し、学び、実践していくことを誓います。

この大学での新たな学びと出会いが、私たち一人ひとりの「いのち」を輝かせ、幸福な未来へとつながることを願いながら、これからの学生生活に励んでいきます。

2025 年 4 月 1 日

大学 新入生代表

工学部 工学科 建築学専修

田中姫奈